

### 日本ジオパーク全国大会 男鹿半島、大潟ジオパークに参加して

内匠 五月枝  
全国大会に参加して感じた事。今回の大会は地域の子供たちが、自然体で楽しくジオパークに参加している様子が見られ、今までにない試みに感心しました。

開会セレモニーでは司会を二人の女子高校生が見事に勤め上げ、中学生4人が地元の紹介をユーモアたっぷりに分かりやすく伝えていました。パネルディスカッションでは、昨年

日本ジオパークに仲間入りした下北ジオパークが、認定審査時に小学生が大活躍した様子をむつ市立吉生小学校の先生方から報告がありました。ジオツアーは「ゆざわコース」に参加しましたが、小学生が郷土芸能を披露してくださる、会場の後方でお母さん達が心配そうに見守っていました。その時、無事終了した笑顔が印象的でした。郷土の文化や歴史等を学び、楽しむことができる地元の大きな財産だと感じました。



梯子で小川を渡る【安田海岸】

新井野 芳恵  
分科会は「海の保全を考える」です。安田海岸の波で渡れない場所を梯子を持参して渡してくれました。植物化石や、石炭層を見ることができ、屏風ヶ浦の火山灰層も年代とそれと興味がわくので、北の海岸は漂流物でいっぱいです。これらには波で行ったり来たりしているプラスチックのゴミが気になります。

人が沢山入る事が動物の巣にも影響を与えたり、観光のラクラクも中止になるとか、保全と景観を守るという事は難しい問題で自然に任せるといふ意見もありました。屏風ヶ浦では保全は難しい問題ですが先送りしないで行政も真摯に考えてほしいです。その後バスで回ったツアーは寒風山の草原と夕焼けに心を癒され、翌日入道岬見学の後小さな船に乗り奇岩をぬうように回ります。ゴジラ岩は以外に小さかったけど大会は北の大地を満喫できおもてなしを感じることができました。東北は私にとっ

### 海の崖からジオサイトの保全を考える



来年はアポイ岳ジオパーク

て秋田く青森まで147kmの内、80km余りは車窓から日本海沿いに走り、ます。カラフルにデザインされた車内では人形芝居や三味線のイベントや展望室、カウンターとあり絶景がみられる場所では電車はゆっくりとスピードを落とし、記憶にある五能線はもっと海岸すれすれに走ってほしいです。樹木が伸びたため、の感動はありませんでした。今回の男鹿半島・大潟大会は東北を満喫した大会でした。

藤身 隆雄  
①、男鹿半島での全国大会へ行く途中、新日本橋で前の電車が「異音」を聞いたため止まっ

### 全国大会雑感

反省点、東京駅での乗換は少なくとも30分、できれば1時間くらい余裕を持って乗換するよう、今後は計画をしっかりとと思った。②、周りの人への素早い心使いの大切さを痛感した。「食い倒れのバス」の前から2番目の座席に茂木さんと共に乗車した時、一番前の座席にガイドが座るので、その座席にいた人は後ろに行かなければならなくなりました。しかし、その人はバスに酔うと、茂木さんは間髪を容れず「私たちが後に行きます」と。東京駅から降り、茂木さんと私は別々

③、銚子から男鹿半島へ、飛行機、JR、高速バスなど利用する交通機関も異なる。折角の機会に参加者が一緒に行動して、車中で話し合ったり、私には思いません。心強いと思